



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和6年度学校だより
No.3 6月号
令和6年6月1日(土)

燦々照今 よりよき今をともに創らん

考え 創った 最高の体育祭 !!

今年度の体育祭は5月11日、市内の先陣を切って開催しました。すでにこの日から3週間が過ぎ去りました。当日に至るまでには雨にも見舞われ、予行練習を1日延期せざるを得ない状況にもなりましたが、当日は最高の天気にも恵まれました。

今回は

「新たな風を巻き起こせ

～考え創り最高の思い出を～」

のスローガンのもと実施しました。掲げたねらいのように、生徒たちの熱い思いと考えの詰まった体育祭となりました。新鮮に感じたことは、すべての競技が団体種目だったことです。3学年とも3種目ずつ、特別種目の一つを合わせて全部で10の競技です。プログラムを見たときには、これだけの数で午前中の3時間を果たして費やすのだろうかと思いましたが、時間の配分も実によく考えられていました。

最後に、中学生、とりわけ三年生の逞しき、力強さと真剣さは実に見応えがありました。次に身体を使って表現するのは総体です。

『 努めよ 若人 佐野の中学 』



5月の最終日、31日(金)の出来事を御紹介します。

本校に3人の訪問者がありました。この方々は約35年前に佐野中に勤務していた先生お一人と、生徒だったお二人です。3人の関係は、当時の女子バレーボール部顧問と部員だったとのこと。

実はこのみなさんは未だに親交があり、今でも時折り連絡を取り合っているとのことですが、かつて通っていた母校、とりわけ3年間汗を流した部活動には並々ならぬ思い入れがあるとのこと。なんとその思いの強さのあまり、女子バレー部のために、横断幕とユニフォームを寄贈してくださいました。本当にありがたいことです。

この後3年生女子部員は真新しいユニフォームに着替えて、この3名の方々と、現在の顧問の先生と、そして部員全員そろっての記念撮影を行いました。

時(間)を超えて、当時とは異なる体育館という空間で、バレーボールを通じて繋がった仲間たちでした。

あらためまして

感謝申し上げます。



智仁武勇



生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時と空 人の間を 燦々と 照らし続けて 輝かす今



3年生にとって中学生最後の体育祭でした。練習からクラスが一丸となり、優勝しようと努力や工夫を重ねていました。体育祭当日も力を出し切ろうと奮起していきいきと活動していました。その結果、3年2組は見事優勝することができました。やり切ったすがすがしい表情と自信に満ちた態度で3年生最後の体育祭を終えることができました。

この経験を生かして、勉強や他の行事にも積極的に取り組んでほしいと思います。

2年2組の理科の授業の様子をお伝えします。

【活動状況】

「カイロ」についての調べ学習（ドキュメントによるレポート作成）

【背景】

前時に「鉄粉+炭+食塩水」を混ぜると温度が上がる「発熱反応」の実験を行いました。各グループの結果をグラフ化し特徴を見たところ、開始2分ほどで50℃近くまで上がる班が多かったのですが、8分ほど経過すると温度が下がっていました。

日常生活でカイロを使用する場合、8分ほどしか持たないのでは商品にならない、ということから、化学反応式に加え、カイロの内容物のそれぞれの役割、その他カイロについて調べたことを報告するレポートを作成することにしました。

【生徒の様子】

実験の際は、予想以上に温度が上がったようで、「熱くなってる!」「何度まで行った!？」のような反応が多く聞こえました。また、タブレットを活用しての調べ学習やドキュメントへの入力をスムーズに行っている生徒が多かったように思います。

普段の理科の学習が日常生活の一部につながっていることを実感してもらえれば…と思います。



1年1組の清掃活動の様子です。

教室、廊下、特別教室、トイレと、それぞれの場所での生徒も一生懸命に清掃活動に取り組んでいます。自分の役割を全うするだけでなく、級友と協力する姿も見られます。

当たり前のことを当たり前のようにできる生徒が多いということが、1年1組の素晴らしさです。

カイロの温度変化

